

ひとりひとりひかる

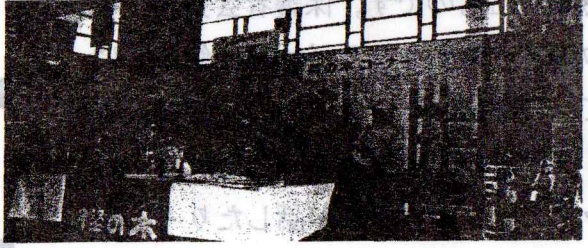
2004 1/1
第35号

きぼう

発行：かしの木の会/かしの木の里内 尾西市富田字砂原 2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp
 榎の木園 : kasien@k3.dion.ne.jp 榎の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp
 かしの木 ホームページ http : www.h3.dion.ne.jp/~kst/



迎春



2003年福祉フェスティバル尾西に参加しました。かしの木のブースは、玄関から入るとちょうど反対側を向いていたのですが、

たくさんの来場者の方々においで戴くことが出来ました。ステージでは、ドレミ教室の皆さんを中心に色んなところから沢山の仲間たちが参加し、コンサートを盛り上げて下さいました。「世界にひとつだけの花」では、手話サークルにここに会さんによる手話通訳と一緒に歌いました。こんなに暖かな人の輪が、これからずっと広がり続けてゆくといいなあ。



あけましておめでとございませす

【35号きぼうの目次】

表紙 写真 目次	P. 1
福祉情報コーナー①②/研修報告	P. 2~3
地域福祉コーナー①/行事応援団さくら組	P. 4
地域福祉コーナー②/健康づくりリーダー	P. 5
地域福祉コーナー③/勉強会(ホームヘルプ)	P. 6
地域福祉コーナー④/ピュアハウス	P. 7
かしの木の会コーナー①/ボランティア委員会	P. 8
かしの木の会コーナー②/レクリエーション委員会	P. 9
施設コーナー[園]/「かしのきえんぼかしくん」	P. 10
施設コーナー[らちえつと]/らちえつとの一週間	P. 11
文芸コーナー①/俳句	P. 12
文芸コーナー②/グラスファンタジー	P. 13
文芸コーナー③/本の紹介	P. 14
お知らせコーナー①②	P. 15~16

福祉情報コーナー②

「一人ひとりの幸せを願い、その人らしい暮らしを支える施設サービスをめざして」



発表の様子

～利用者の利益の保護及び地域福祉の推進～をテーマに豊橋で行われた第4回知的障害者関係施設職員研究大会に参加しました。

1日目は講演やシンポジウムが行われ、2日目は第5分科会(在宅サービス)にて『かしの木の里 重症心身障害児(者)通園事業の取り組みについて』ということで実践報告です。約1年経ったところでの“らちえつと”での取り組みと、重症児(者)の短期入所のニーズ(緊急時、長期休暇におけるの児童、重症心身障害児・者、土曜日・日曜日など)、支援費制度への移行もあり短期入所が増えてゆく傾向の中で、どんなに重い障害があっても豊かな地域生活を維持してゆくために、このニーズに答えてゆくこと、そして7割が在宅といわれている重症心身障害児(者)におけるの活動場面の広がりが望まれるというような事柄を発表させて頂きました。

分科会でのディスカッションでは「在宅サービス」ということで、短期入所、居宅介護等の話題を中心に意見交換されました。この地域にも、かしの木の里の短期入所があることで、さまざまな地域の声、ニーズを知る機会となり

“支援の必要な方達に出来る限りの支援を”という取り

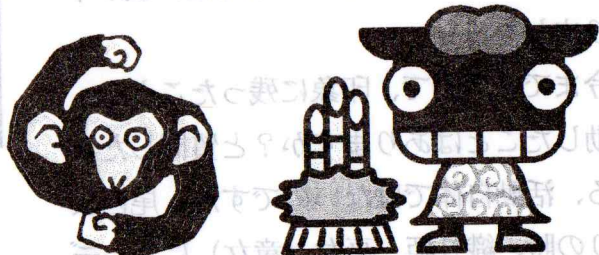
組んでいるところです。参加された方はどの地域においてもニーズに応えるためオリジナルで取り組んでいました。特に居宅介護事業(ホームヘルプ)の事業所や支援費では補えない部分の支援を行っている事業所は、24時間安心して暮らせる為にと、どこも同じように努力されていました。

まだまだ1年のらちえつとの取り組みも豊かで充実したものにするるとともに、地域の声、ニーズも今一度知ってゆかなければと感じているところです。

(かしの木の里 らちえつと 夏井 幸広)



分科会の様子



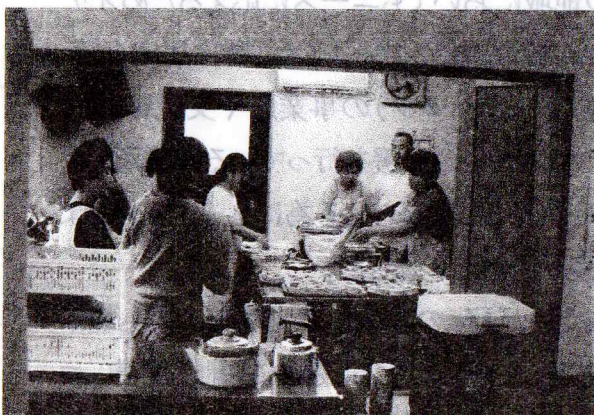
地域・福祉コーナー①

行事応援団 さくら組に

取材に行ってきました

平成15年11月16日に、さくら組の森部さんと永石さんを尋ねました。とても丁寧にインタビューに答えていただきました。

さくら組とは、尾西市社会福祉協議会に登録されているボランティア団体で、檜の木も時々お手伝いしていただいています。



(行事の昼食用意の場面)

母親クラブや学童保育の保母の代表が、12～13人集まって、25年も前から活動を始めているそうです。いわば、三条小学校区の子供が縁で知り合った仲間たちだそうです。

そんな、仲間だから社会福祉協議会から依頼があれば、どこでもとんでいく。どんな活動でもすることとしているそうです。

かしの木フェスティバルも第1回から参加しているし、盆踊りもよろこんで参加していますよ・・・とのこと。本当に、頭が下がりました。

今までの活動で、印象に残ったことや、感動したことはありますか？と質問したところ、活動自体ではないのですが、尾西まつりの時、織り姫、巫女（童女）にハンデ

ィを持った方が参加されました。そのことで、感動したし、また勇気づけられたとのことでした。

また、これからの活動について伺ったところ、老人を対象としたことをお手伝いしていきたいとのこと。その理由は、自分たちも年をとっていくし、その気持ちを知っておきたいから・・・

最後に、檜の木に期待することをおききたところ、漠然としていて難しいですねっと、土息おいてから・・・

檜の木作業所、檜の木園、かしの木の里と、それぞれがわかりやすい方法でもっと地域にアピールしていったほうが良いかもしれません。これからも、ハンディを持った方の窓口としてがんばってください。とアドバイスをいただきました。逆に励まされた私たちでした。

今回、取材をさせていただき誠にありがとうございました。誌面にて、お礼を申し上げます。

取材 広報研修委員会 佐藤、堀田



(フェスティバルびさいの模擬店)

地域福祉コーナー② ☆「健康づくりリーダー」へ取材に行ってきました☆

平成15年11月14日(金)に、毎月1回かしの木の里の第一作業室の体力づくりに、ボランティアに来ていただいている健康づくりリーダーさんに取材をさせていただきました。

健康づくりリーダーとは、健康づくりに関心を持っている方を募り、資質の向上と、健康づくり運動をより進展させることを目的とした、財団法人愛知県健康づくり振興事業団が中心となって行う研修を修了された方がご自分の判断で登録されます。各市町村の保健センターに登録者名簿が配布され、その地域で活動されています。

皆さんは愛知県の尾張西部ブロックの一宮支部に所属しており、一宮市、尾西市、木曾川町の3市町村の方が登録されています。主に公民館や公共の施設で、健康体操



を広めておられ、個人的に地域の方々に教えている方もみえます。対象者は子供から高齢者まで様々で、対象者に合った内容の体操を推進しています。

かしの木の里へは、昨年の10月頃から毎月1回(金)に来ていただき一

緒に体力づくりを行っています。主にタオル・ボール・フラフープ・障害物レース等を取り入れ楽しく行っています。毎回終わった後に、今日の体力づくりはどうだったかという反省会をして、次の体力づくりを



よりよく取り組めるよう暖かく考えてくださり、大変ありがとうございます。

健康づくりの三つの要素である「栄養」「運動」「休養」をたいせつにしているそうです。その運動の部分健康づくりリーダーが担い、栄養と休養はご自分で十分に取り

っていただきたいと。みなさんの健康寿命を延ばし、人のお世話にならずに、自分の力で生活していけるように、日々の運動を少しでもいいので行ってほしいです。合言葉は「PPK」(ぴんぴんころり)です。いつまでも健康な毎日を送っていただきたいとおっしゃっていただきました。

健康づくりリーダーの皆さんはとても元気で、私も見習い少しでも運動を毎日の生活に取り入れていきたいなと思いました。

(取材 大野 さちこ)

★地域・福祉コーナー③

ホームヘルプサービスについて、勉強会をもちました。

「ホームヘルプサービスって何?」と題して、檜の木保護者会主催で勉強会をもちました。12月5日(金)、尾西市文化会館のボランティアルームに檜の木施設利用者の保護者ら50名程が参加しました。講師には尾西市市民福祉部福祉課の長野久美子さんと尾西市社会福祉協議会の訪問介護事業所主任 春日井ヒトミさんをお招きし、それぞれ支援費制度における障害者の居宅介護の制度の内容と状況や、ホームヘルプサービスの実施状況についてお話を頂きました。

まず、支援費制度は申請主義ですので、施設支援と同様に、居宅支援の申請が必要になります。利用者(保護者)はこの勉強会のように自ら情報提供を得て、相談しなければなりません。この時に大切なことは障害者(児)の日常の状態を詳しく伝え、このような支援をこれくらい欲しいと十分に理解していただけるように訴え、市町村から「受給者証」を受けられることが必要になります。

制度の内容については、資料に基づく説明により、ほぼ理解をすることができましたので、ここに紹介してみます。知的障害者の場合の居宅支援は、居宅介護等事業、デイサービス事業、短期入所事業、地域生活援助(グループホーム)事業の4種類があります。そして、居宅介護事業(ホームヘルプサービス)の内容は、以下のものになります。

(1) 知的障害者・身体障害者

- ①身体介護：入浴・排泄・食事の介護、通院介護など
- ②家事援助：調理・洗濯・掃除などの家事的援助
※利用者本人が不在の時は不可
- ③移動介護：社会生活上必要不可欠な外出
余暇活動等社会参加のための外出
※通学・通勤・営業活動や通所施設などへの往復は不可



(2) 身体障害者(肢体不自由1級で両上肢・両下肢に障害にある方)

- ①日常生活支援：身体介護・家事援助に加えコミュニケーション支援や家電製品の操作等の援助を比較的長時間にわたって断続的に提供される支援。

利用者負担は、児童は父母の収入により、成人の場合、障害年金は課税対象にならないので負担金は0円となります。

現状として、障害者の居宅サービスの受給者は市内においては10名弱で、障害者(児)のための居宅介護事業所は、尾西市社会福祉協議会訪問介護事業所とサーブ訪問介護事業所の2カ所となっているそうです。

質疑がありましたが、紙幅の関係で省かせていただきます。

講師のお話にもありましたように、居宅介護事業は、支援費制度の理念でもあります「ノーマライゼーション」(地域で普通の暮らしを)の実現を目指すものであり、地域の関係者がこれから実りあるものに育てていく新しい社会福祉事業だと言えます。

かしの木の会員 石田

地域・福祉コーナー④

こんにちは！ピュアハウスです。



14:30 休憩
 14:45 作業開始
 15:50 掃除、帰りの会
 16:00 帰宅

天気の良い時は作業訓練以外に、午前10時くらいから30分位散歩に出かけ①交
 通ルールの学習、帰ってきてからは②手洗
 いの練習、食後の③歯磨き指導、作業活動
 後の④道具の片付けと⑤掃き掃除と⑥機の
 整理などいろいろな学習項目があります。
 そのほか、⑦ガンバルシールを貼ること
 によって作業意欲を高める工夫をしています。
 日常生活の基本を身に付け身辺自立の向上
 を目指して社会の一員として、努力してほ
 しいと願っております。

無認可作業所「ピュアハウス」を開所し
 て早いものでもうすぐ2年が過ぎようとし
 ています。

1年目は手探りで、子供達が毎日楽しく
 通える様にと保護者も頑張ってきました。
 その子供達も「新成人」になる日を迎える
 までになりました。そして2年目の4月よ
 り指導員さんに来て頂き、早や8ヶ月が過
 ぎました。子供達が仕事に意欲を持てる様、
 また療育的な面ではそれぞれの個性を受け
 止め、持っている可能性を上手に引き出し
 ながら一所懸命に指導に取り組んで頂き、
 皆立派に成長してきた事など心から感謝致
 します。さて、それでは「ピュアハウス」
 の仲間の一日の生活を紹介したいと思います。

日 課

9:00 ラジオ体操、朝の会
 9:15 作業開始
 10:30 休憩
 10:45 作業開始
 12:00 昼食
 13:00 作業開始

10月31日、秋の遠足で多度へ芋掘り
 に行って来ました。天気も良く、芋掘りが
 始めてという人もいて、皆とても喜んで
 いました。その後で、木曾三川公園に場所
 をかえてお弁当を食べ、アスレチックで遊
 んだり、散歩をしたりとそれぞれに楽しく
 一日を過ごせました。



かしの木の会コーナー①

「地域」を考えるきっかけづくりを

— 人との交流をめざす市民のメンバー募集中 —

懸料 08:41

故開業券 24:41

会のり歌 紹説 02:21

字歌 00:21

かしの木の会は、ハンディのある人もこの生まれ育った地域で普通に暮らしていくことができるようにと活動に取り組んでいます。ボランティア委員会の活動もまた、社会福祉施設への支援だけでなく、地域との架け橋として、また地域の中での取り組みが主眼になっています。かしの木の会の活動の中にボランティアの活躍を期待しております。

メンバーの多くは檜の木施設利用者の保護者ですが、委員自らが、地域の行事である尾西市のクリーン作戦や花火大会後の清掃活動に汗を流しています。また、今年は、尾西市敬老会のボランティアにも参加させていただきました。

現在、ボランティア委員会として力を入れていますのはかしの木フェスティバルです。今年は、一宮女子高校生は、ステージにて太鼓の演奏を披露して下さいました。起工業高校の美術部員さんには、さおり織りや押し花、缶バッチ等の手作り作品体験コーナーにおいてスタッフとして活躍していただきました。尾西第一中学校のブラズバンドの生徒さんにもステージで演奏をしていただきました。そして、多くの高校生、中学生のボランティアが会場のあちこちの店舗で活気ある店員として活躍して頂いたのが最近の新しい芽になってきています。かしの木の里の若葉の利用者さんと一緒になって、販売を手伝っていた生徒さんもありました。きっと、あちらこちらで小さな

かしの木の会 ボランティア委員会

交流がひとつふたつと生まれたのではないのでしょうか。会場の後片づけにおいても、重たいサッカーゴールの大移動を高校生ボランティアに手伝っていただき、いつも苦勞しているだけにこれは大変助かりました。今、地域に人と人との交流の暖かさが芽生えていくようにと、大きなイベントにおける取り組みがスタートしたばかりです。やがては小さなレクリエーションや、広報や手芸の他、ハンディのある利用者とソフトボール等々を通して交流が出来るようになったらどんなにすばらしいことでしょうか。もしも、お互いに顔なじみとなり、お友達になることができれば、仲間同士で散歩をしたり、図書館や買い物などに出掛けたり、いっしょに遊ぶということが生まれるのではないのでしょうか。

今日の地域の現状は、近くに暮らす者同士があまりにもお互いに疎遠になり過ぎてしまっています。あるいは、同じような者同士が周りにいます。しかし、生まれ育った地域にはいろいろな人が暮らしています。お互いのことをもう少し知り合っていくような結びつきの取り組みが求められていると言えます。そのことの方が普通の地域の暮らしと言えるのではないのでしょうか。このような思いを持つ市民が私たちかしの木の会の中心メンバーになって頂いたらどんなにすばらしいことでしょうか！今後とも皆様の、ご指導やご協力をお願いいたします。

(ボランティア委員会 後藤・石田)

かしの木の会コーナー②

レクリエーション委員会です

今回は、レクリエーション委員会を紹介いたします。レクリエーション委員会は、「会員相互の理解とコミュニケーションを図る」ことを目的として始めました。以前は、親子遠足と餅つきをメイン行事として、陶芸教室、しめ縄作り、料理教室、ゴキブリ団子作り等、色々実施してまいりましたが、かしの木の里が開所されてからは、会員数も施設利用者の数も格段に増え、職員さんの力をお借りしても運営上様々な問題が生じるようになってきました。まず親子遠足の件について、利用者の皆さんには各施設ごとにいろんな週末のレクリエーションが用意されていますので、かしの木の会では会員さん達のための交友会という余暇の行事に置き換えさせていただきました。この行事は、毎年夏と秋の二回、週日に行っており、施設利用者の皆さんの個々のリズムに合わせた送迎による時間的な制約はあるにしても、参加者の皆さんはそれぞれ思い思いに楽しんでいるようです。今年度は、11月19日に「美濃の和紙の里会館」にて紙すきの体験をしてから、大矢田もみじ谷へ行き紅葉を愛でてまいりました。紙すきは、見た目よりも難しかったのですが、



思いのほかきれいな作品に仕上げる事ができました。自分たちで仕上げた和紙を使って行灯を作り、暗いところで灯しますと、幽玄と申しまじょうか、幻想的な雰囲気が出てとってもよかったです。大矢田もみじ谷での紅葉はまだ時期的に早かったようで、目がさめるような景色を拝むことはできませんでしたが、特産の五平餅に舌鼓を打ちながら楽しい時間を過ごすことができました。陶芸教室では、一般の方々の参加も多く、楽しく交流し、夢のある楽しい作品が上手に出来るようになったとの声も聞かれ、バザーにも出品しています。餅つき大会の場合、これまでは親子でゆっくり食べる余裕が無かったので、本年度は各施設ごとに保護者会の皆さんと協力し、こじんまりとした集団で、一日をのんびりと過ごせる様にしたいと思っています。最後に、当初の「会員相互の親睦とコミュニケーションを図る」という目的は、お陰様である程度まで実現できました。今後は、できればもっと地域に目を向け、交流を深めより一層のご理解が得られればいいなあ、と心から念じております。

(レクリエーション委員会 小崎)



檜の木園コーナー① 生ゴミの減量に貢献！ かしのきえん ぼかしくん

檜の木園第3作業室での取り組み

檜の木園第3作業室では、授産種目の一つとして、EMボカシの製造販売を始めました。去年の10月22日に販売を開始してから、「かしの木フェスティバル」、「福祉フェスティバル」「園バザー」とイベントが続ぎ、いたる所で「かしのきえん ぼかしくん」の宣伝と販売をさせていただいて、お陰様で、好調なスタートを切らせていただきました。

当初は、作業室の中で、全員の作業として進めてきました。容器となる使用済み牛乳パックに、ラベルを貼ったり、ラベルそのものをプリントゴッコで印刷したり、また材料をかき混ぜたり、発酵させて天火干した製品をパックつめにしたり、500g計量したり・・・新しい仕事で緊張しながらも、興味津々で面白く、楽しく頑張りました。そうした過程の中で今まで見たことのないような皆さんの姿や言葉があっ、一人一人の新しい一面を見せてただけで、職員も感動する場面が多くなりました。



ところで、「かしのきえん ぼかしくん」というのは、通称「EMボカシ」と言われているもので、生ゴミを堆肥にするために使用する、発酵資材のことです。生ゴミにこの、EMボカシを混ぜ込んで、専用の密閉容器で発酵させると、生ゴミが、良質の堆肥となって、花や野菜の成長に最適の有機肥料となるのです。家庭から出る生ゴミは、堆肥作りの資源として、最適であることが実証されています。

生ゴミは、そのままでは不用品にすぎませんが、私たち一人一人が自覚し、ゴミを減らし、リサイクルして、堆肥とすることを始めれば、環境を浄化することにもなるし、立派な野菜を育て、生き生きした花を咲かせることができるのです。

是非、皆さんも生ゴミに第3作業室で販売している「かしのきえん ぼかしくん」を混ぜて堆肥を作りましょう。

その後、第3作業室では、生産に追われる状態です。かといって、どんどん作業室の中で生産という訳でもないのです。材料やほこりが他の作業に影響を及ぼす為、どうしても戸外での活動となっています。寒い冬を迎えた今、寒さが身にしみ、ボカシ作り専用の倉庫か、プレハブが欲しいなあと、切実に思っています。

檜の木園 小木曾雪子

施設コーナー② かしの木の里らちえっと らちえっとの一週間

月曜日
らちえっと会

一週間のはじまり、みんなで話し合いながら予定を立てたり、何でもいろいろなことを話し合う日。



火曜日
ふれあい

ふれあい体操を中心に行います。みんな楽しく気持ちよさそうです。

水曜日
アート

とにかく自由に芸術を楽しんだり、最近では自主製品の5本指靴下を染めたりしています。



らちえっと

《重症心身障害者(児)通園事業 B型》

今日はリラックス。ゆっくりできれば何でもO.K.お香に足湯、マッサージ、散歩に行く人も。思わずみんなで昼寝してしまいます。

みんな楽しみ金曜日。買物に行ったり、みんなで外出したり。おやつや自分の好きな物を調理したり、お楽しみの日。

リラクゼーション
木曜日

金曜日
外出、調理実習



ボランティア大募集中

らちえっとではこんなことを月曜日から金曜日行っています。一緒にみんなのお手伝いをしていただける方を募集しています。まずはお電話で御連絡ください。

..... かしの木の里
TEL0586 (63) 2111 武田、夏井まで
.....

文芸コーナー ①

鴛鴦睦む天女伝説残る湖

栗山チヨコ

コンサートすませてからの年用意

人見 昭子

街師走せはし急はしと鴉鳴く

横山 好子

凍空にライトアップの城浮かぶ

杉浦 光枝

一騎打ちありし陣屋の寒気かな

木之村美代子

公園の秋気動かす太極拳

渡辺 長久

尾西市俳句会

年金の生活ほそぼそ年用意

続木 静子

冴ゆる夜のこころの底にふるるもの

服部 愛子

夕景となりて色濃し石路は黄に

大野 克昌

本堂は日曜教室黄葉散る

玉腰たか子

予後かばひ子の手も借りて豆叩く

小川たか子

上り来し海女の舌焼く納豆汁

岡田 波流夫

助け合いつつ老夫婦豆叩く

日比野 照雄



文芸コーナー② グラスファンタジー

グラスファンタジー

平成15年11月18日(火)～23日(日)に尾西市歴史民族資料館で行われた、ステンドグラス展「グラスファンタジー」をご紹介します。

尾西市在住のガラス工芸の中島三起子先生の教室に通われている

生徒さんの作品と、先生の作品40点余りを集めた合同展示会が行われました。教室は一宮・稲沢・佐屋の3箇所があり、およそ40の方が月に1回から2回、自分の空き時間を利用して通われており、生徒さんの職種は様々だそうです。

中島先生は、20年以上のガラス工芸歴で、子供が3歳のころから始められたそうです。教室をはじめたきっかけは、ガラスの可能性に挑戦したくなったことです。教室では、皆さんが色んな事に体験できるよう、様々な工程を用意しているそうです。サンドブラスト・グラスリッツェン・色絵付け・ステンドグラス・ガラスモザイク・グラスフュージング・トンボ玉などなど、初心者でも体験しやすいそうです。

先生は、はじめられた方の作品を見られる事がとても嬉しいとおっしゃって見えました。どんどん上手になっていくのが嬉しいですと。

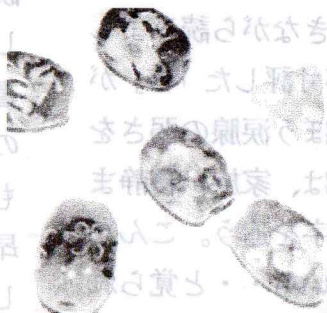
3つの教室の合同の作品展を行うことで、他の市の教室の方の作品も見られて、お互いに交流が持てる良い機会として行っています。少し離れているところにまたお友達ができて楽しいですよ!とのこと。

中島先生のご好意で、かしの木の里へボランティアでガラス工芸を教えに来てくだ

さっています。また、かしの木の里へお寄りの際はガラスの作品を是非見に来てくださいね!(広報/大野)



▲ 展示会の様子
素敵な作品が勢ぞろい



▲ とても細かな細工が
素敵なトンボ玉



▲ 先生の作品
ステンドグラスのスタンド

★クラブ員・同好会員募集中★

ガラス工芸教室に興味のある方は、下記までお問い合わせください!!

一宮・稲沢 (0586) 24-0633 岩崎 郁代

佐屋 (0567) 31-1615 川村 寿美子



とても細かい作業だわぁ〜すごい!

文芸コーナー③

『世界の中心で、愛をさけぶ』

片山恭一 著

何年かぶりに恋愛小説を購入した。しかも、ハードカバー。おじさんが、書店でこの手の本を購入することは、難易度の高い課題である。小声で「カバーを御願います。」という依頼も同時にしなくてはならないから・・・資源節約より体裁を気にする。

ベストセラーは、何冊か読んだ。「ノルウェーの森」「鉄道員(ポッポ屋)」などなど。しかし、今回は手強いぞ。なんとと言っても恋愛小説。しかも、「泣きながら読みました。」などとドラマ女優が寸評した「帯」があったら・・・最近めっぽう涙腺の弱さを自覚しはじめたおじさんは、家族が寝静まってから、おもむろに活字を追う。こんな本読んで・・・涙流している・・・と覚られないように。

絞ったスピーカーから流れるコルトレインのサクスト、ミニテーブルの水割りです。雰囲気をつくり、ページをめくる。すぐに、この小説の世界にトリップ。登場人物に感情移入も始まり、その言葉や行動がおじさんの涙腺を刺激する。おじさんは、20年前の自分をそこにすり込み、高校時代の自分とダブらせる。側面的に主人公たちを見ていたり、また主人公になったように・・・本当に都合がいい。

白血病を題材にした恋愛小説は、「ある愛の詩」に代表されるように数多くある。必ず、悲劇的な別れがそこにある。この小説もごたぶんに漏れずこの類なのだが、悲しいままで終わっていない。これからも存在していくという未来感も同時にある。愛

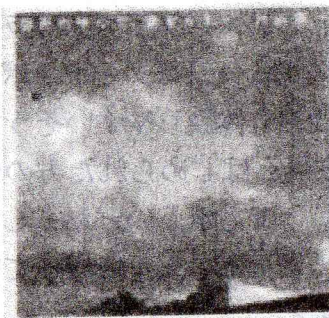
の尊さというか、愛の力というか、愛そのものを生命を持った存在としてとらえているのだ。最後は、「マディソン郡の橋」ばりのエピローグ。

内容については、ここでは触れない。これから読む人の夢を奪ってしまってもいけないから。しかし、この本がベストセラーになった理由は、この本を読めばわかるのではないか・・・活字離れした女子高生に受けるのも、私のようなおじさんを魅了するのも、読んでみたらわかるのではないか。

ただのミーハーの小説家が書いた三文小説とは違う。文章構成もしっかりしているし、古典や科学などの知識を持った作家が書いていることも解る。また、適当に最近の流行やブランドも登場させて、若い人にも伝える工夫が見られる。読み手の感情の昂ぶりを文章構成によって、有る程度操作している。いくつもの感情の波がいくつも出来て、クライマックスで最高潮の波にするように・・・

そして、本当に最後はさざ波に・・・

新進の作家としては、若いのにとてもすばらしい本を創った。みなさんも、この本の虜になって欲しい。泣くのは自分で本を読んでから？



小学館 1400円

(作者と同年齢のおじさん・檜の木園職員)

☆簡単おやつ☆

“げんこつあめ”

- 材料 きなこ ……100g
 ごま ……25g
 水あめ ……100g
 水 ……大さじ1
 砂糖 ……25g
 塩 ……少々
 仕上がり用きなこ ……少々

食生活改善グループ

(作り方)

- ① きなことごまを混ぜ、中心をくぼませる。
- ② 水あめを火にかけ、水、砂糖、塩を入れて溶かす。
- ③ ②を①に入れ、よく混ぜる。
- ④ 材料を8等分し、直径1.5cmほどの棒状にのばす。
- ⑤ 冷めてから一口大に切り、きなこをまぶす。

きなこは体にとってもいいよ!!

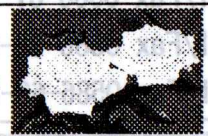


◎新年を迎え健康でありたいですね。
 会員の皆様我が家にも幸せの青い鳥が訪れるといいですね☆

お知らせコーナー①

押し花にする花募集中

お庭に咲いている花をほんの少し分けて頂けませんか?
 《押し花にできる花、葉っぱ》
 バーベナ・ミニバラ・あじさい・スイートピー・かすみ草・黄花コスモス・ピオラ・もみじ・人参の花、葉などあまり厚みのない花・葉っぱを募集しています。
 出来ればタッパ等の入れ物の下にきつく絞った雑巾、ティッシュを入れて頂くとしおれません。よろしくお願いします。
 かしの木の里：きらめき工房



前回、きぼう34号文芸コーナー①でP. S. としてお話しをした本「もも子、かえるの歌がきこえるよ。」が映画化されました。また、映像として、みなさんの前に「もも子」が甦ります。上映会があったら、是非見にいきたいですね。

もも子、かえるの歌がきこえるよ。



映画化決定!
 「もも子、かえるの歌がきこえるよ。」

お知らせコーナー②

行事予定 1月から

1月29日(金)~2月3日(火)

松坂屋福祉の店

2月18日(水)~2月28日(土)

ダンケ立春バザー

3月9日(火)

いずみバザー

3月末か4月上旬

榎の木園バザー

また、詳しくはパンフレットを出します



御願

広報研修委員会からの御願

「きぼう」の記事を募集しています。どんなことでも、かまいません。身近な情報、話題をお待ちしております。

広報研修委員会まで

平成15年度普通救命講習会

第4回 平成16年2月29日(日)

・9:00~12:00(3時間)・尾西市消防署研修室
・費用 無料・参加対象者 尾西市内在住・在勤で中学生以上 申し込みは↓

尾西市消防署救急係 0586-62-3163 ダイヤルイン

中長期整備事業の有志による自己資金積立状況

(平成15年12月4日現在)

1. 累計積立額 10,109,840円 (目標額: 3000万円/4年間)
2. 協力者数 148名 (目標数: 150名以上)
3. 取組み経過月数 29ヶ月 (平成13年8月開始)



○皆様方のあたたかいご支援とご協力に支えられて取り組んできました、有志による積み立ても、おかげさまで累計1000万円を突破しました。これまでのご協力に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、支援費制度に移行して早9ヶ月、ようやくこの制度が皆様方にも理解されてきたところではないでしょうか。私達の取り巻く環境や情勢も大きく変化しつつある今日、この有志による積み立ての取り組みも、来年3月を目処に見直しを検討しています。

そこで、皆様方への御願ですが、平成16年4月分以降の積み立ては、見直し案がまとまるまで一時保留していただきますよう、よろしく御願します。

☆ 随時 作業・行事ボランティアさんを募集しております!!

詳しくは、かしの木の里 0586-63-2111 担当 武田まで。

尚、かしの木の会/手芸品 かしの木の里/自主製品を、かしの木の里・施設内にて販売しております。榎の木園にて花苗を販売しています。お立寄りの際はどうぞご覧下さい。

かしのきえん ぼかしくん を第3作業室で生産し始めました。本文中にもありますが、環境にとってもよいものです。販売は、随時榎の木園でおこなっています。お待ちしております。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県尾西市富田字砂原 2147番地 Tel 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

榎の木福祉会☆榎の木作業所 尾西市富田字漆畑1 6番地 Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514

☆榎の木園 尾西市富田字若宮1 7番地 Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253

☆かしの木の里 尾西市富田字砂原2147番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200